



2022年5月12日

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」の導入について ～ 銀行業務のペーパーレス化・印鑑レス化を目指す取組み ～

千葉銀行（頭取 米本 努）は、営業店業務におけるペーパーレス化・印鑑レス化を実現するため、「TSUBASAアライアンス」*で連携している中国銀行（頭取 加藤 貞則）、日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長執行役員 山口 明夫）と共同開発した「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」を2022年6月に導入します。

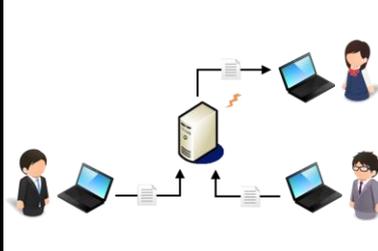
これまで新規口座開設や届出事項変更などの業務においてはタブレットにて受付後、一部紙を出力し手続きをしていましたが、本システム導入により、完全なペーパーレス化・印鑑レス化が可能になります。具体的には、窓口受付後の銀行内部の手続きに「汎用的な」電子ワークフローの仕組みを取り入れ、申込内容の精査・承認・記録のプロセスを紙に出力することなく画面上にて実施できるように改めるものです。

また、ペーパーレス対象業務の範囲を拡大（詳細は別紙をご参照ください）する予定であり、お客さまの各種書類への記入負担を軽減するとともに、事務の精度向上、お客さまの店頭待ち時間の短縮につなげてまいります。本システムでは「営業店の窓口で受付した取引」にとどまらず、ホームページやちばぎんアプリなど「WEBで受付する取引」の後続手続きにも適用範囲を拡張できることから、営業店・本部を問わずバックオフィス業務のペーパーレス化・印鑑レス化を一層推進してまいります。

当行は、中期経営計画においてデジタル戦略の推進に重点的に取り組んでいます。今後もお客さま向けサービス、業務効率化、働き方改革などあらゆる分野でデジタル技術を活用した施策を積極的に展開してまいります。

※千葉銀行、中国銀行、第四北越銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の10行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上

	受 付	受付後の手続き	輸送・保管
導 入 前	タブレット受付システム 	紙と印鑑で承認・記録 	紙の輸送が必要 
導 入 後	タブレット受付システム 	画面上で承認・記録 	離れた場所でも同時に業務可能 

「TSUBASA汎用ペーパーレスシステム」の導入効果の例

- 銀行窓口における新規口座開設や届出事項変更などの申込受付については、既にタブレット受付システム（TSUBASA Smile）によってペーパーレス化されていましたが（今回、対象業務を拡大）。
- 窓口で受付した後の銀行内部の事務手続き方法として、これまでは紙で出力し押印することで承認したことを記録していましたが、画面上で電子ワークフローを承認する方法とし、完全ペーパーレス化を実現します。
- これによって、本部集中化や書類の保管のために紙を輸送する必要がなくなり、離れた場所においても同時に業務をすることができるようになります。
- 本システム導入により「ペーパーレスでの受付可能業務を内製で柔軟に拡大すること」が可能となるため、順次対象業務を拡大していきます。

<導入前>

普通預金新規口座開設、届出事項変更、喪失手続きなど約28業務

<導入後>

貸金庫申込・変更・解約、カード生体認証登録・変更、手形・小切手帳の発行など約80業務を追加予定